※令和４年度以降入学生用

学校番号	２０２

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	論理国語	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「新論理国語」　（三省堂）						
副教材等	「字義で覚える常用漢字」（浜島書店） 「現代文 解法のテクニック　三訂版」（株式会社 啓隆社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「論理国語」では、1年次「現代の国語」の学びを踏まえ、よりテーマを掘り下げながら文章を正確に読み取る力を養います。自分で調査して考え、他者と協働して考えをさらに深めるとともに、正しく的確な文章で効果的に伝え合ったり表現したりする活動を行います。
・論理の展開と話題についての知識を学んで「読む能力」をさらに向上させましょう。また、他者の意見にも触れ、考察力を深めて、考えをまとめ伝えるための「書く力」を磨きましょう。
・授業では、自分で調査したことや意見、文章要約などをワークシートにまとめて提出します。また家庭学習として、語彙の学習や事前の読み取り課題などを課します。いずれも自分の力で、最後まであきらめずに取り組んでください。

2　学習の到達目標

多岐にわたるテーマの文章を正確に読み取り、背景の調査や他者の意見に広く触れて自分の考えを磨く活動などを通して、正確な読解・理解力と効果的な表現力を次の通り育成することをめざす。
(1)今後の社会生活で求められる言語知識や技能を広く身につけるとともに、論理の展開を追いながら文章を読み取り、現代の諸相に対する理解を、言語を用いて深めることができるようにする。
(2)論理的に考える力や表現する力を高め、探究活動をしたり他者と協働して意見交換を行ったりすることで、より豊かで深い思考力を身につけられるようにする。
(3)思考を構築し表現する言語の働きへの認識を深め、言語を用いて他者や社会との関わりを適切に築いていこうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	今後の社会生活で求められる言語知識や技能について広く身につけ、語彙を豊かにしながら適切に用いている。	「書くこと」「読むこと」の各領域において、文章を正確にかつ論理的、批判的に読み取り考える力を養うために、他者との協働活動や探究活動を通して、自分の考えを広げ深めようとしている。	言語を用いて論理力や批判力を磨き、自ら進んで思考を深化させながら、他者や社会との関わりの中で自他を尊重して生きる姿勢を身につけようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期	論点を明確にし、要旨を把握しながら、「自分」について考える ［教材］平野啓一郎 『自分を捉え直す』	a：文中の漢字や語句の意味を理解し、適切に使うことができる。 b[読]：文章構成から論点を明確にしながら内容を理解し、要旨主張を正確に把握することができる。 c：自分のあり方について主体的積極的に考え、他者との意見も参考にしながら、自分の考えを深めている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート ノート
	内容や構成、論理の展開を捉えながら、「自分」と「他者」の関わりについて考える。 ［教材］ 鷲田清一 『他者を理解する』	a：文中の漢字や語句の意味を理解し、適切に使うことができる。 b[書]：身の回りの関わりを考えながら論理的に本文を読解し、得た自分の考えを正確かつ効果的に展開することができる。 c：他者と関わりながら生きていくことの意味を、他者の意見を十分参考にしながら深め、より深いものに磨き上げようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート ノート
	データを整理しながら書き手の意図を捉え、自身の言語活動について考える。 ［教材］ 川口良・角田史幸 『カタカナは享受すべきか』	a：文中の漢字や語句の意味を理解し、適切に使うことができる。 カタカナ語の理解を深め、文章の中で適切に使用できる。 b[読]：データを適切に整理して理解しながら、書き手の意図を正しくつかんでいる。 c：データを元に論理展開を追って本文の理解を深め、自分で適切な例を挙げながら読解を深めようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート ノート
2学期	主張を支える事例を吟味し、自分にあてはめて、実感と言葉について考える。 ［教材］山崎ナオコーラ 『それぞれのしっくりくる言葉』	a：文中の漢字や語句の意味を理解し、適切に使うことができる。 b[読]：本文の正確な読解をもとに適切な例を挙げながら、自分の実感に引きつけて要旨を理解することができる。 c：自主的積極的に身の回りからあてはまる例を探し、他者の挙げた例も参考にしながらさらに理解を深めようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート ノート
	文章の中での事例の役割と意味をつかみ、自分の視点を客観的・批判的に捉え直す視点を持つ。 ［教材］前田健太郎 『多様な視点から考える』	a：文中の漢字や語句の意味を理解し、適切に使うことができる。 b[書]：本文の読解を正確に行ったうえで、客観的な視点を持って自分の考えを正確かつ効果的に展開することができる。 c：自分以外のものの見方や考え方に触れ、他者と協働で読解や考えをさらに深めて、自分の例を述べる文章の中で意見を効果的に展開しようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート ノート
	文章や論理の構成を捉え、主張を伝える工夫を学ぶ。 ［教材］大竹文雄 『落語の中の経済学』	a：文中の漢字や語句の意味を理解し、適切に使うことができる。 経済用語についても調べ、理解しようとしている。 b[読]：論理構成や例示から抽象化する過程をしっかりつかみ、主張の効果的な伝え方について理解を深めている。 c：身近な例を周辺から探し、他者と積極的な意見交換を行ってさらに理解を深め、自分の身の回りで起こる例への対応を他者と協働して考えたり意見交換したりして、実生活に生かす意識を持とうとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート ノート

※令和４年度以降入学生用

3学期	根拠や例示の適切さを確かめながら、書き手の立場を推論し、自身の進路観について考える。 ［教材］ 内田樹 『なぜ私たちは労働するのか』	a：文中の漢字や語句の意味を理解し、適切に使うことができる。 本文の文脈の中で語の意味することを正確につかめている。 b[読]：これまで学んだ論理構成の知識を活用し、論理的に読み取ることができる。 c：これまで学んできた論理展開の方法を応用しながら、主張を正確につかみ、他者との意見交換を行いながら、自分の今後の進路やありかたと引き比べながら、次の問題意識に発展させようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート ノート
	論理の構成を明らかにし、説得力のある表現を理解して、社会の仕組みについて問題意識を持つ。 ［教材］ 湯浅誠 『「すべり台社会」と“溜め“』	a：文中の漢字や語句の意味を理解し、適切に使うことができる。 本文の文脈の中で語の意味することを正確につかめている。 b[書]：本文の読解をもとに、自分の考えを正確かつ効果的に展開することができる。 c：これまで学んできた論理展開の方法を応用しながら、主張を正確につかみ、自分自身の進路実現や社会のリアルな問題など、身近な問題に引きつけて考え、次の探究課題に発展させようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート ノート

４　学習の活動

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　３０　）時間

・読むこと　…　（　４０　）時間